

平成23年度昭和村立東小学校 第2回学校評価結果資料

自己評価評定 ◎：最良 ○：良好 △：改善を要す ▲：特に改善を要す

アンケートの判断基準 A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない(%)

評価結果 ↗：評価が高くなった →：大きな変化なし ↘：評価が低くなった

評価対象	評価項目		具体的数値項目 ☆ 保護者または児童のアンケート実施	自己評価	上段 保護者アンケート結果				評価結果
					下段 児童アンケート結果				
					A	B	C	D	
Ⅱ 確かな学力	分かる授業	児童は、授業がわかり満足感や達成感を味わっていますか	④☆「授業がわかる」と答えている児童が80%以上である。	◎	54	38	7	1	→
	基礎・基本の定着	児童に、教科等の基礎・基本が確実に身についていますか	⑤☆「身につけている」と答える保護者が80%以上である。	○	19	71	9	1	→
	学習習慣	児童に家庭で自主的に学習する習慣が身についていますか	⑥☆ 目安となる学習時間以上に取り組んでいる児童が80%以上である。	○	27 31	53 41	15 18	5 10	↗ ↗
	読書習慣	児童に読書の習慣が身についていますか。	⑦☆「時々・毎日読んでいる」と答える児童(1～4年)が80%以上である。	△	27 25	29 44	27 28	11 2	↘ ↘
⑦☆ 月に4冊以上本を読む児童(5・6年)が80%以上である。			○	29 38	20 41	37 20	8 0	↘ ↘	
V 安全確保・施設設備	通学時の安全確保	児童の通学時における安全確保は十分ですか。	⑭☆「十分である」と答えた保護者が90%以上である。	○	29	60	11	0	→
VII 組織運営	開かれた学校	学習の充実を図るために、地域の教育力を効果的に活用していますか。	⑳「効果的に活用している」と答えた教職員が80%以上である。	○	30	61	9	0	

《第1回学校評価結果を受けての改善策》

- 【家庭学習の習慣】** 目安となる学習時間以上に家庭学習に取り組む
(改善策) 20分や15分でやり終える漢字練習、計算練習、音読、読書等を複数組み合わせる宿題等として課することによって、家庭学習の習慣づくりを行う。
- 【登下校時の安全】** 安全に気をつけて登下校する
(改善策) 通学時の安全確保について、「自分の身は自分で守る」ために親子の話し合いを更に推進するとともに、通学路の安全対策について、村当局に働きかけていく。
- 【地域との連携】** 地域の教育力を効果的に活用する
(改善策) 2学期は地域の教育力を必要とする場面が増すので、積極的に活用していきたい。

※ 2学期は、①を重点課題として取り組みました。

【参考】 第1回学校評価結果

評価対象	評価項目		具体的数値項目 ☆ 保護者または児童のアンケート実施	自己評価	上段 保護者アンケート結果			
					下段 児童アンケート結果			
					A	B	C	D
Ⅱ 確かな学力	分かる授業	児童は、授業がわかり満足感や達成感を味わっていますか	④☆「授業がわかる」と答えている児童が80%以上である。	◎	17 55	71 39	11 6	1 0
	基礎・基本の定着	児童に、教科等の基礎・基本が確実に身についていますか	⑤☆「身につけている」と答える保護者が80%以上である。	○	13	73	14	0
	学習習慣	児童に家庭で自主的に学習する習慣が身についていますか	⑥☆ 目安となる学習時間以上に取り組んでいる児童が80%以上である。	△	35 21	46 30	4 42	13 7
	読書習慣	児童に読書の習慣が身についていますか。	⑦☆「時々・毎日読んでいる」と答える児童(1～4年)が80%以上である。	○	8 27	32 57	50 15	10 1
⑦☆ 月に4冊以上本を読む児童(5・6年)が80%以上である。			◎	13 60	49 32	38 4	0 0	
V 安全確保・施設設備	通学時の安全確保	児童の通学時における安全確保は十分ですか。	⑭☆「十分である」と答えた保護者が90%以上である。	○	30 82	57 17	11 0	2 1
VII 組織運営	開かれた学校	学習の充実を図るために、地域の教育力を効果的に活用していますか。	⑳「効果的に活用している」と答えた教職員が80%以上である。	△				